

会議録

会議名 (審議会等名)	相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134 (直通)		
開催日時	令和6年12月4日(水) 10時00分から12時05分まで		
開催場所	南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	16人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	5人(南区長、他4人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 区長挨拶</p> <p>3 議題</p> <p style="margin-left: 20px;">・南区基本計画に示す取組目標の進捗について</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 取組目標Ⅰ 健やかに成長し学ぶことができるまちをつくります</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 取組目標Ⅱ いつまでも健康でお互いが支え合うまちをつくります</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>		

審議経過

主な内容は、次のとおり。（○は委員、●は事務局の発言）

1 開会

2 区長挨拶

加藤南区長から挨拶を行った。

3 議題

・南区基本計画に示す取組目標の進捗について

- 事務局より第8期の全体スケジュールを資料に基づき説明。次期答申は第9期に行う予定であるため、第8期で計画の進捗状況を確認する。取組目標はIからVIまであり、進め方については、事務局が作成する評価シートの内容等を確認していただき、事業実績や進捗にご意見をいただく形。第8期でご意見をいただいた内容を第9期へ引継いでいく。4回を目途に議論していただく予定である。

(1) 取組目標 I 健やかに成長し学ぶことができるまちをつくります

- 事務局より資料に基づき説明。
- 子育て広場たんをと運営している。相模原市では親子に対する様々な事業が運営されているが、支援者として感じていることは、産後ケア事業や家事援助などは真に困っている人に情報が届いていない。市のホームページは情報がまとまって掲載されているのは承知しているが、困っている人はホームページにたどり着かないことが多い。困っている人全てに届くような情報発信の仕方について考えてほしい。また、支援者に対するキャリアアップ支援について、国や市から事業は降りてくるが、施策自体を勉強する機会が不足している。支援員に対するスキルアップ機会があるとよくなるのではないかと考えている。(渡辺委員)
- 子育て支援に比べ、高齢者に対する支援は恵まれていると感じている。地域包括支援センターの役割にアウトリーチの対応がある。子育て支援についてもアウトリーチで働きかける

仕組みがあるとよいと思う。(草薙委員)

- 新生児の4か月訪問事業があり、その時点で対応が必要な人は介入があるが、それ以降の月齢に対する施策はないと思う。(渡辺委員)

(2) 取組目標Ⅱ いつまでも健康でお互いが支え合うまちをつくります

- 事務局より資料に基づき説明。
- 地域包括支援センターはあるが、活動の場は小学校での体操や自治会館など多岐にわたる。公民館区に地域包括支援センターがあるので、地域の特色に合わせた活動をするように心がけている。(草薙委員)
- 年齢で考えると自分自身も高齢者に分類されるが、まだまだ動いているので高齢者だと思っていない。活動等に参加してはいないが、健康マージャンが盛んだということは聞いている。その他の活動等については詳しくないのでこれから知っていききたい。(田村委員)
- 高齢者に対して、地区社会福祉協議会が支援をしている。各自治会でサロン運営をしていて、住民同士で助け合っている。役割分担として、高齢者の中でも元気な人が運営側を担っている。その他では、ボランティアで楽器や手品、紙芝居なども行っている。高齢者の社会参加は公民館を含め、頑張っているところである。身内の不幸があり、手続きのために市役所(他市)へ行った際の出来事だが、1度引いた受付番号で、ベルトコンベアー式に手続きが進み負担が少なく助かった。行政側の連携プレーがあるととても助かる。子育ては、子育て支援センターが担当部署であり、保健師の訪問事業があるが、コロナの蔓延後どのようになっているか承知していない。母子手帳交付の際や出生届の際に行政側からアプローチがあるとよい。(中村委員)
- 健康体操やサロンは数としてはあるが、担い手が不足している。子ども食堂は何か所かあったが、コロナ禍もあって食材の配布という形で継続している。生活保護に至らない経済的に厳しい世帯に対する支援や、子ども会を復活させる取組なども考えていきたい。地域の中に居場所をつくるのが大切だと思っている。(中島委員)
- 自治会として、地域のそれぞれの団体を支援している。こどもの数も減っているが、子ども食堂を定期的に行っている。だが、幼児までは手が届かない状況である。(田村委員)

- こども食堂の担い手はどなたが担っているのか。(井坂会長)
- 現状は、高齢者が多いので、後継者について考えていかなければならない。(田村委員)
- 青年会議所で、中高生の居場所づくり事業を行う予定があるので、施策について注視していきたい。まだ構想段階だが、学校に居場所がない子などに対して、eスポーツの大会やパラ・デフスポーツの運営に関わってもらえるような事業を実施して社会との繋がりを再構築できたらと考えているところである。(姫野委員)
- 文化財団では、文化を通して魅力あるさがみはらをつくることを目標に、子どもから高齢者まで様々な層を対象に多種多様な事業を展開している。今回の取組目標ⅠⅡに関連していると、圧倒的に高齢者層の来場が多いクラシック業界では全国的に集客が減ってきている。そこで当財団では高齢者も来やすいように、夜公演ではなく昼公演にするなどの工夫を行っている。また、グリーンホールでの演奏会だけではなく、アウトリーチとして財団と市内のプロの音楽家が連携して市内の小学校4年生を対象に体験事業(「学校訪問授業」)を行っている。今年度からは、おださがプラザで市民向けに「学校訪問事業番外編」を行い、世代を超えた交流を行えたらいいなと思っている。少子化や高齢化の課題の中で文化財団としてできる取組を行っていこうと思っている。さがみはらの魅力づくりに貢献出来たらと考えている。(後藤委員)
- 学生が主体となって、こども食堂や生活に困窮している学生向けに支援をしている団体。相談を受けても、相談内容によりどこに繋がたらいい内容なのか難しい場合がある。支援側である自らも制度等を学んでいかないと支援の輪を広げていくことが難しいと感じている。(遠木委員)
- 市との関わりは、さがみ風っ子展を大学の屋内展示をしている。美術館としての立場でいうと、子供から大人まで生涯学ぶことができる施設。大学ではあるが、一般向けにも開放しているので積極的に美術館に足を運んでもらいたいと思っている。ただ鑑賞に来るだけではなく、公園に隣接していることもあり、立地を生かし居場所になるといいと思っている。地域の方が気軽に行くことができる施設にしたいと思っている。(藤田委員)
- 白金キャンパスに北里柴三郎記念博物館があり、その館長も務めている。相模原キャンパスには、ミニ水族館や植物園があるので市との連携を考えている。中高生向けのサイエン

スカフェの講座を行ったり、一般向けに市民講座を行っていて大変好評である。今後は市ともより積極的に連携していきたい。高齢化が進んでいるので若者の定着が大切になっていると思う。また、市立病院が無い政令指定都市は、相模原市だけであり、市民病院がないので、北里大学病院の役割は重要だと思う。今後、地域とより一層連携していければと考えている。出前講座もオンラインでの実施が可能なので、各児童クラブ等と検討できたらと思っている。また県道52号も課題であると思っている。事務局に質問だが、成果指標はどのようなアンケートの取り方で統計が出ているのかを教えてください。 (朝日田委員)

- 成果指標の数値はすべて相模原市総合計画の進行管理のための市民アンケートから抽出したもの。対象者は18歳以上の市民から無作為に12,000人を抽出してWEBアンケート形式にて実施。アンケートの回答数は2,283件(回答率19.0%)である。(事務局)

- 渡辺委員のお話であった本当に困っている人は、どこで見つけて支援に繋げることができたのか。また、市のホームページは市民から見ると、どこに何が書いてあるかわかりづらい部分があるので、カテゴリーで一覧になっているととても分かりやすいと思う。文化財団の出前講座を小学4年生のみの対象ではなく、地域の一般参加も含め、小学校や中学校の体育館等で開催していただけると嬉しいと感じた。(嶋村委員)

- 一つは4か月検診の場所で、キッズスタート事業を行っていて、疲れていそうな保護者を見つけたら直接声をかけて支援に繋げている。もう一つは、寒川で赤ちゃん食堂という事業があり視察に行った際に、相模原市の利用者が利用していることがわかり、支援者の輪の中で繋がった。その方は、SNSを通して寒川の支援団体に繋がっていた。今のお母さんは市のホームページは見えていないので、SNSの工夫も重要である。(渡辺委員)

- 子育て以外の分野でも情報が届いていない人が多くいると思う。広報紙に関する八王子市は全戸配布であり、行政の発信力の差があると感じている。事務局に質問ですが、取組目標Ⅱの成果指標の数値で公民館に関する部分があるが、施策で該当するところがないように見えるが、どの部分になるのか。(江野委員)

- 公民館事業については、地域ネットワークの整備強化や高齢者の社会参加の部分としてお示しさせていただきます。(事務局)

- 子育て世代や高齢者を助ける支援も必要だが、全体の話聞いていて、これから困るかも

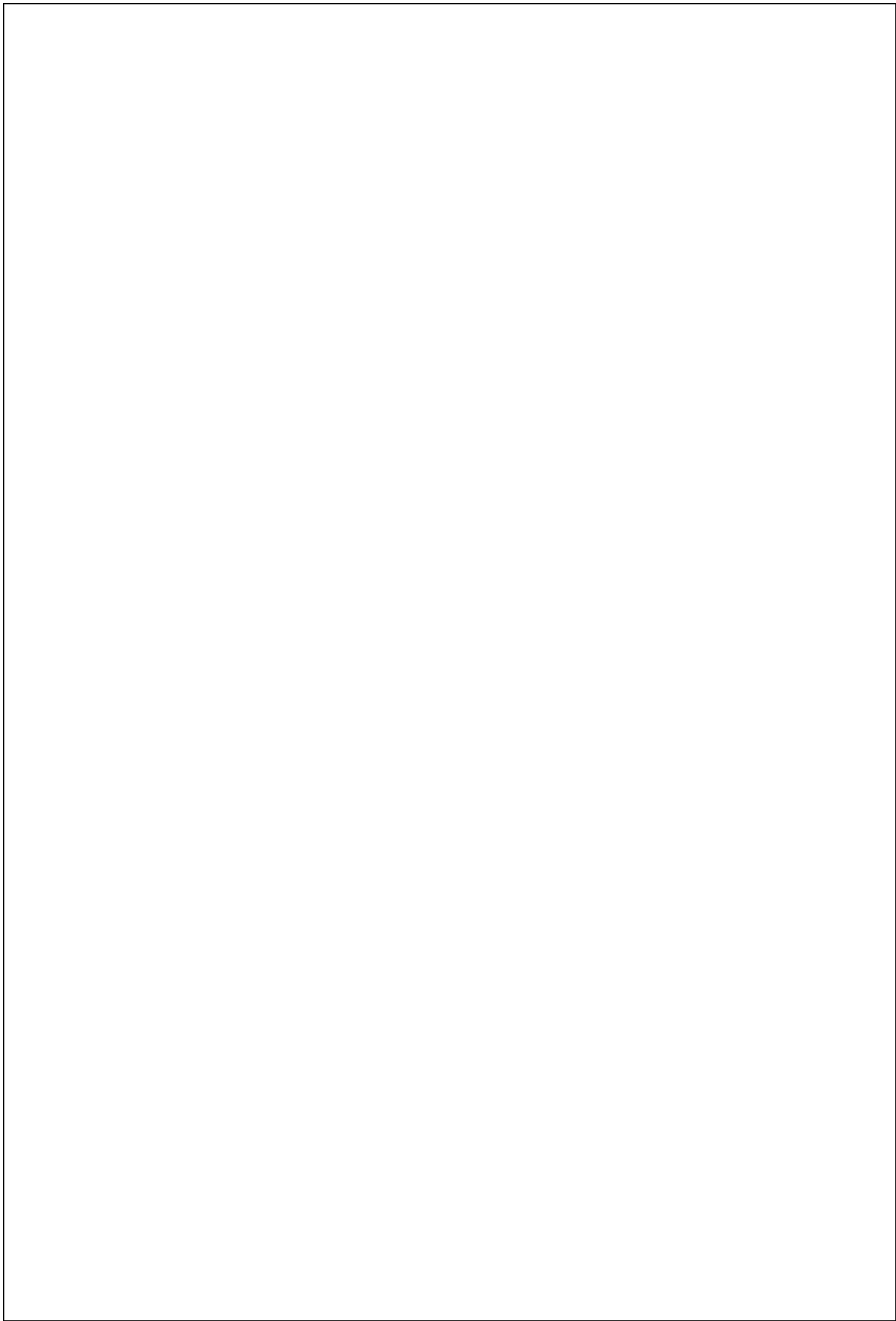
しれない人への支援も必要になってくるのではないかと感じた。今から5年後、10年後に困る可能性を考えて、将来に備えた知識を身に着けることが必要。やりがいのためのボランティア活動や地域活動はいい取組だが、それが無償でよいのかと考え直す機会であるとも感じた。(隈本委員)

- 地域のコミュニティチャンネル等で情報発信をしている。情報発信の媒体は様々あるが、年代によって検索する媒体も異なるので発信側にも工夫が必要。施策の中で、さがみはら子育てきずなLINEはいい取組だと思った。市内の警察署と地域の安全に関する協定を結び、防犯映像を作成して発信したり、自治会連合会と協力し、迷惑電話防止の商品や防犯カメラのリースなどを初期費用なしで利用できるようにするなど、民間企業ではあるが地域と一緒に発展していけるように協力しているところである。(加藤委員)

4 その他

- 麻溝地区まちづくり会議から、11月12日付で「次期一般廃棄物最終処分場に係る要望書」を市長に提出し、併せて地域情報紙に関連記事を掲載したことについて情報提供があった。市への要望書ではあるが、どうしてその要望をする必要があるのか分かるように説明を加えているので、多くの人に見ていただき、最終処分場の問題を自分事として考えるきっかけにしてほしい。(中島委員)
- おくやみ窓口について区民課より情報提供。他市のようにベルトコンベア一式に手続きをできるわけではないが、本庁舎に予約制の窓口が設置された。相談等は各区民課やまちづくりセンターでもできる。ハンドブックにはチェックリストもありすこしでもわかりやすい手続きになるように工夫を進めているところである。(区民課長)
- 亡くなった方に対するフォローは分かったが、赤ちゃんや子どもに対する支援として、どのような具体的なものがあるかが簡単にわかるとよいと感じている。(中村委員)
- 事務局より次回区民会議で副会長を選任する旨、及び次回区民会議を2月に予定している旨の連絡があった。

5 閉会



相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	田村 小次郎	大野中地区まちづくり会議		出席
2	中村 洋子	大野南地区まちづくり会議		出席
3	中島 勝平	麻溝地区まちづくり会議		出席
4	鈴木 真司	新磯地区まちづくり会議		欠席
5	中村 明	相模台地区まちづくり会議		欠席
6	松嶋 保和	相武台地区まちづくり会議	副会長	欠席
7	田村 久司	東林地区まちづくり会議		出席
8	鈴木 貴市	相模原南交通安全協会		欠席
9	佐田 昌史	相模原市民生委員児童委員協議会		欠席
10	草薙 喜義	相模原市社会福祉法人経営者協議会		出席
11	渋谷 典彦	相模原市22地区社会福祉協議会南区連絡会		欠席
12	渡辺 美帆	子育て応援団With		出席
13	大西 麻衣	相模原商工会議所		欠席
14	姫野 大輔	相模原青年会議所		出席
15	後藤 弘幸	相模原市民文化財団		出席
16	遠木 ナオ	チームユニバース運営委員会		出席
17	井坂 聡	相模女子大学人間社会学部	会長	出席
18	藤田 百合	女子美術大学芸術学部		出席
19	朝日田 卓	北里大学 地域連携室		出席
20	小池 清史	公募委員		欠席
21	嶋村 裕子	公募委員		出席
22	江野 学	公益財団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム (市民・大学交流センター)		出席
23	隈本 光	南区若者参加プロジェクト実行委員会		出席
24	加藤 岳	ジェイコム湘南・神奈川 相模原・大和局		出席